

1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

平成 22年 1月 26日

【評価実施概要】

事業所番号	0174100768		
法人名	有限会社おおいし		
事業所名	グループホーム くつろぎ		
所在地	〒085-0057 釧路市愛国町西2丁目7番地10号 電話) 0154-39-0506		
評価機関名	社団法人 北海道シルバーサービス振興会		
所在地	〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7 4階		
訪問調査日	平成21年12月4日	評価確定日	平成22年1月26日

【情報提供票より】 (21年 11月 13日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成) 17 年 9 月 2日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	18 人 常勤 17 人 非常勤 1 人, 常勤換算 16人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	2階建ての	1～2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円		
その他の経費(月額)	水道光熱費10,000円 暖房費4750円		
敷金	有) (85,000円) 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 350 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要 (11月 13日現在)

利用者人数	17 名	男性 5 名	女性 12 名
要介護1	5 名	要介護2	6 名
要介護3	4 名	要介護4	2 名
要介護5	名	要支援2	名
年齢	平均 86.7 歳	最低 69 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	さい内科クリニック、島津歯科医院、大久保歯科医院
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は住宅街に位置し、近くにはスーパーや学校があり地域との関わりが持ちやすい立地となっている。町内会に加入し、事業所の行事に地域住民が参加し、町内会の行事には利用者が地域の一人として参加している。交流に努めることで良好な関係作りが成されている。中高生の実習や体験、ボランティアの受け入れ等に積極的に取り組み、地域密着型サービスとしての役割を果たすよう努力されている。利用者の尊厳を重んじ、一人一人の思いを大切に支援し、また家族が気軽にいつでも来訪できる雰囲気づくりに日常的に取り組み、利用者は安定した信頼関係の中穏やかな日々を過ごしている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価で改善課題として挙げられていた、①理念について、②評価の意義、③重度化や終末期、については既に見直され改善されている。④運営推進会議を活かした取組み、⑤火災対策、については現段階では改善までには至っていない。 今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4) 全職員に自己評価表を配布し、それぞれ職員一人一人が自己評価を記入し、それを纏めあげた。運営者、管理者は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、会議等で話し合い具体的な改善に取り組んでいるが、全職員が意義を理解するまでには至っていない。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議が組織されているが参加者が集まらず中止したり、十分な機能を果たしていない面がある。しかしながら、現在参加者を増やすためにはどのようにしたら良いのかなど検討していく準備をしている段階である。会議の意義の理解や、開催の持ち方などを工夫等し、運営推進会議が定期的に有効に執り行われることを期待したい。
重点項目②	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 毎月くつろぎ通信を発行し、外出や行事から、レクリエーションやボランティア訪問時などの日常の様子まで、分かりやすい文章と楽しい様子が伝わるたくさんの写真で、利用者の暮らしが毎月金銭出納帳とともに家族へ伝えられている。また、なかなか来訪できない家族へは、別途個人通信も発行し、個々にあわせた報告を行うなどの配慮をしている。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の一人として町内会に加入し敬老会などの行事に参加したり、事業所の行事に参加していただいたり、また、近くの中高生の実習や体験の受け入れなど地域の人々と積極的に交流することに努めている。今後、防災訓練等において地域の方々の協力などに繋がるよう期待したい。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員へアンケートを行い作りあげた事業所独自の理念である。地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとしての事業所独自の理念となっている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ユニット毎にそれぞれ見やすく目に付きやすい場所に掲示し、ホーム長・管理者・職員は、理念を共有し日々確認し合い、理念の実践に向けて取り組んでいる		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の一人として町内会に加入し敬老会などの行事に参加したり、事業所の行事に参加していただいたり、また、近くの中高生の実習や体験の受け入れなど、地域の人々と積極的に交流することに努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員に自己評価表を配布し、其々職員一人一人が自己評価を記入し、それを纏めあげた。運営者、管理者は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、会議等で話し合い具体的な改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議が組織されているが参加者が集まらず中止したり、十分な機能を果たしていない面がある。しかしながら、現在参加者を増やすためにはどのようにしたら良いのかなど検討していく準備をしている段階である。	○	会議の意義の理解や、開催の持ち方などを工夫等し、運営推進会議が定期的に有効に執り行われることを期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者とは随時連絡を取り合い、相談等をまめに行っている。また、口腔ケアの出前講座を依頼するなど、情報交換やサービスの質の向上に向けて良好な関係作りが成されている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月くつろぎ通信を発行し、分かりやすい文章と楽しい様子が伝わるたくさんの写真で、利用者の暮らしぶりが毎月金銭出納帳とともに家族へ伝えられている。また、なかなか来訪できない家族へは、別途個人通信も発行し、個々にあわせた報告を行うなどの配慮をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃から家族の意見や要望を言い易い雰囲気づくりに努め、訪問時や電話等で要望や意見を聞き運営に反映させている。まだ参加家族は少ないが、家族会を発足し、家族同士の意見交換や交流にも繋がっている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	やめない事情で離職をせざるおえない職員がいたが、早い時期から利用者へ説明し、また他のスタッフもフォローすることでダメージを最小限に留めることが出来ている。事業所をはじめ職員が一体となり利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内の研修に外部から講師を招いたり、事業所内外の研修もシフトを調整し参加する機会を設け、職員一人ひとりが働きながらトレーニングしサービス向上やスキルアップ出来る機会を持てるよう、取り組みを行っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に入っており協議会を通し、地域の同業者行事に利用者ともに参加したり交互にも交流する機会を持ち、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に事業所見学を勧めているが、見学が不可能な場合は職員の方から訪問し面談等を行い、本人や家族に顔を覚えてもらう等で、出きる限り入居前に信頼関係を築き、馴染み易い雰囲気の中で入居に至るれるよう心掛けている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人を介護される一方の立場におかず、料理・掃除・畑作業・雪かき等、利用者のできることでできないことを把握し、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の担当を決め個別の関わりを大切にし、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。また、何気ない会話の中でさり気なく意向を汲み取るなど配慮している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の担当者がケア会議の中で管理者やホーム長と話し合うとともに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見をを反映した介護計画を作成している		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3ヶ月ごとに見直しを行うとともに、急変時や健康状態の変化等が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、随時現状に即した新たな計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の要望に応じて、通院・買い物・墓参りや、馴染みの理美容室などの外出も柔軟に支援をし、本人のこれまでの生活を出来るだけ維持継続できるような支援に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切にし、入所前のかかりつけ医や事業所の協力医療機関の訪問看護月2回、皮膚科医の訪問診療等、適切な医療を受けられるように支援している		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人や家族等ならびにかかりつけ医等と話し合い、理解を深め、ケア会議等で方針を共有するように努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排泄の誘導時等の日常的なケアの場面においても、プライバシーや自尊心を損ねるような言葉かけや対応のないようさりげない声掛けや対応に心掛けています。また、記録等の個人情報の取り扱いにも十分配慮されています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、可能な限り本人の希望に沿うよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員が一緒に買い物に行き、食事の味付け・盛り付け・食器を並べるなどの準備や食器洗い・食器拭きなどの片付けを身体状況や個々の能力に応じて、工夫しながら職員が一緒に行っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一応曜日を設定してはいるが、本人の希望を大切に、入りたい曜日や回数・時間帯等、一人ひとりの希望に合わせて、入浴を楽しめるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	散歩・買い物・外食・畑作業・銭湯等の支援を行い、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしとなるように支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、車で買い物や花見・紅葉見学、温泉等、戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者、ホーム長、職員は日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、日中・夜間を想定した避難訓練を実施している。	○	運営推進委員会等を利用しながら地域等の協力体制、相互援助の構築の取り組みに期待する。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの習慣なども大切にしつつ、食事量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう記録し、一人ひとりの状態に応じた支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には季節感のある装飾をするなど居心地よく過ごせるような工夫をしている。また、不快な音や光がないように配慮されている		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、家庭で使用していた家具や仏壇などを持ち込み、趣味の作品や家族の写真などを飾り、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。		

※  は、重点項目。